

4の3 国語科学習指導案 (第2次中5時)

10/23 (金) 3限
4年3組教室 加納 篤

- 1 単元名 読んで考えたことを話し合おう ～ごんぎつね～
- 2 本時のねらい
償いの気持ちから兵十への思慕に移り変わっていくごんの行動を読みとることができる。
- 3 本時における学ぶ楽しさ
一人では読みとれなかった事柄にも、互いの読みを聞き合う中で気づき、読みを深める楽しさ。自分の読みを紹介し、分かってもらえる楽しさ。

4 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて
5	<p>1. 課題を確認し、場面5を音読する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は「ごんはどんな気持ちで兵十のかげぼうしをふみふみ行ったのか」をみんなで考えます。 <p style="text-align: center;"><ごんはどんな気持ちで兵十のかげぼうしをふみふみ行ったのか></p>	
5	<p>2. 互いの考えを聞き合う</p> <p>○隣の子に、自分の考えを説明しなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「兵十と加助の話の続きが聞きたいな」だと思ふ。 ・だから話し声が聞こえるくらいの距離まで近づいたんだね。 ・でも、かげをふめる距離って、近すぎない？ ・だって話し声が聞こえる距離でないと… ・それじゃあ、見つからちゃうよ！ ・本当は見つかりたかったりして。 ・だって、ごんはずっとひとりぼっちだったんだもん。 ・「くりや松たけを持って行ってるのは、おれだよ！」って言いたいのかな？ ・でも加助がふり向いたとき、隠れたんだよ。 ・それは、ごんがいたずらばかりしてきたから。 ・自分がいたずらぎつねだって、ごんは忘れてるんじゃない？ ・だって、こここのところ毎日いいことしてるしね。 	<p>(2)かかわりを通して言葉を拡げる</p> <p>漠然とイメージしている事柄は、他に説明しようと言葉にすることで明確に意識できるようになる。また、自分の気付かなかった見方を知ることが刺激となり、他にも根拠となる叙述がないか探そうとする意欲付けにもなるので、まずはペアで説明し合わせる。</p>
30	<p>○ペアで話し合ってもモヤモヤが解決しなかった人はいますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごんは、本当にお礼を言ってほしかったのか分からなくなりました。だったら、なんで隠れて持っていったんだろう。次の日だって、見つからちゃうけどこっそり入ってるし。 ・ごんは、今までお礼のことなんか考えたこともなかったんだけど、加助に言われて「兵十が神様にお礼を言う」と思うと、なんか嫌な気持ちになったんじゃないかな。 	<p>(1)言葉との出合いを課題につなげる</p> <p>ペアで解決しなかったモヤモヤやいいなと思った考えを全体に拡げることで、自分たちの課題を解くという必要感を持たせる。</p>
5	<p>3. 本時をふり返る</p> <p>○今日の授業を終えて、40分前にはなかった自分の考えを書きなさい。</p>	<p>(3)言葉が生きて働く場を設定する</p> <p>本時の学びを自覚させるために書かせる。</p>
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>始めは、ごんは話の続きが聞きたくて近づいたんだと思っていたけど、みんなと話し合っているうちに、本当はごんは兵十と友達になりたかったのかなと思いました。そう思って読み直してみると、「かげぼうしをふみふみ」って、すごくかわいいなって思えてきました。</p> </div>		

